



東武トップツアーズ株式会社

TOBU TOP TOURS CO.,LTD

Communication on Progress

対象期間：2020年1月～2020年12月

国連の提唱する人権、労働、環境、及び腐敗防止に関する普遍的原則を進める『国連グローバル・コンパクト』に当社は2012年5月から参加しています。社内・外における積極的なCSR活動の取組みを通じて、グローバル企業として責任ある経営を推進し、持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

2021年1月20日

代表取締役社長

坂巻伸昭

人権分野に関する活動報告

本年度の活動目標・内容	結果・評価	来年度の活動目標
2005年3月より、コードプロジェクトユニセフ・UNWTOなどが進める「子ども買春防止のための旅行・観光業界行動倫理規程(Code of Conduct)」に参加を継続している。	従来より当社ホームページで、プロジェクト参加表明とプロジェクトの目的を説明している。	引続き活動を継続し、より充実をはかる。
2010年からJCV(世界の子どもにワクチンを日本委員会)の活動を支援し、本年はシルバーパートナーとして活動を継続している。	途上国の子どもたちへワクチンを贈る活動に、シルバーパートナーとして支援・参画した。	JCVを通じた途上国への訪問と活動支援を検討。
社内ホットラインの更なる利用促進のため、コンプライアンスハンドブックの改訂作業をおこなった。また、同ラインの周知を図った。	社員がいつでもセクハラやパワハラに対し、周囲を気にせず相談できる環境の充実がはかれた。コンプライアンスハンドブックの改訂準備をおこない、改訂版の発行を2020年におこなった。	引続き活動を継続するとともに、相談者の秘密厳守を徹底する。

労働に関する活動報告

本年度の活動目標・内容	結果・評価	来年度の活動目標
全従業員の定期的な健康診断の実施(年1回全従業員の定期健康診断を実施)	予定どおり全従業員を対象に健康診断を実施した。 (受診率：100%)	引続き実施するとともに、未受診者ゼロを目指す。
全従業員への有休休暇取得奨励で利用率の向上を図り、「ノー残業デー」を設置するとともに、「働き方改革推進委員会」にて新たな取り組みを進める。	有休取得促進告知の社内ポータル掲載と、毎週水曜日の「ノー残業デー」の継続実施。勤務時間のフレキシビリティをはかるため「時差出勤」や「テレワーク勤務」の推進・実施を行った。	有休取得ならびにノー残業デーの浸透をさらに図るとともに、取得率向上の取り組みを行なう。また、個人のライフスタイルを活かせる、柔軟な勤務制度を推進・検討する。
障がい者の新法定雇用率2.2%までの引上げを目指す。	全従業員の2.45%を雇用した。	引続き、法定雇用率クリアを図る。
オフィス環境や耐震性を考慮した、事業所移転計画を策定・実施。	左記を踏まえた支店の移転を継続的に実施。	引続き実施する。

環境に関する活動報告

本年度の活動目標・内容	結果・評価	来年度の活動目標
エコツアーの実施。	SDGs活動をテーマとした視察ツアー及び上部団体（JATA）が例年実施している環境保全活動に参加予定であったがコロナ感染症の影響で実施できなかった。	コロナ感染症が終息し活動再開ができるようになったら、通年同様の活動を実施したい。
スポーツ大会等多くの人が集まる場所で、ゴミの収集と分別活動を実施。	湘南国際マラソン大会で、ゴミの資源分別ステーションをボランティアとして運営予定であったがコロナ感染症の影響で実施できなかった。	引き続き同大会への参加を継続するとともに、活動の拡がりを図る。

腐敗防止に関する活動報告

本年度の活動目標・内容	結果・評価	来年度の活動目標
反社会的勢力との取引を一切禁止する社内規定を策定。取引業者、顧客に対して事実関係の有無調査と覚書の交換。	業務上の取引先に対し先のとおり取り組みを実施するとともに、社内監査等でその浸透を図った。また、がコンプライアンスハンドブックの読み上げをおこなった。	引続き実施するとともに、社内監査等での徹底を継続する。関連するeラーニング等も検討。

